



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 川崎近海汽船株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9179 URL https://www.kawakin.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤沼 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 島田 一郎 (TEL) 050-3821-1345
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年11月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,505	1.4	1,444	111.9	1,398	83.8	1,086	21.2
2019年3月期第2四半期	22,197	10.9	681	△47.6	760	△42.5	896	0.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,065百万円(1.6%) 2019年3月期第2四半期 1,048百万円(7.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	370	21	—	—
2019年3月期第2四半期	305	54	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	48,265	55.1	27,782	55.1	—	—
2019年3月期	48,370	53.2	26,902	53.2	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 26,587百万円 2019年3月期 25,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	60.00	—	60.00	120.00	—
2020年3月期	—	60.00	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	120.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	45,000	△1.6	1,900	△5.3	1,850	△9.6	1,450	△14.6	493	94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	2,952,500株	2019年3月期	2,952,500株
2020年3月期2Q	16,942株	2019年3月期	16,904株
2020年3月期2Q	2,935,580株	2019年3月期2Q	2,935,596株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなか緩やかな回復が続きましたが、米中貿易摩擦や中国の景気減速などにより輸出や生産に弱さが見られるなど回復のペースは鈍化しました。

海運業界を取り巻く環境は、内航海運では堅調な荷動きが継続したものの、外航海運では中国経済の減速などにより市況が本格的な改善に至らず、総じて先行き不透明な経営環境になりました。

こうした情勢下、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、外航部門で稼働が減少した一方で、内航部門の清水/大分航路や常陸那珂/苫小牧航路で輸送量が増加したことに加え、フェリー輸送で大型連休により旅客と乗用車の利用が増加したこともあり、前年同期に比べて1.4%の増収の225億5百万円となりました。営業利益は、売上高の増収とともに修繕費が減少したことや一部の船舶で耐用年数の変更等を行い減価償却費が減少したことなどにより、前年同期に比べて111.9%増益の14億44百万円となり、経常利益は前年同期に比べて83.8%増益の13億98百万円となりました。

また、船隊整備の一環として内航船1隻を売船し、固定資産売却益を計上するなどした結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べて21.2%増益の10億86百万円となりました。

事業のセグメント別業績概況は次のとおりです。

「近海部門」

鋼材輸送では、米中貿易摩擦など世界情勢の先行き不安により日本出し鋼材の減少が懸念されましたが、当社の輸送量は、概ね前年同期並みとなりました。

木材輸送では、国産合板の台頭で日本向け合板の輸入量が大幅に減少したことで、前年同期を若干下回る輸送量となりましたが、バイオマス発電用燃料(ウッドペレットやPKS)では、日本各地での発電所の新規稼働などにより輸送量は大幅に増加しました。

バルク輸送では、セメント、穀物などの輸送量が増加しましたが、当社の主要貨物であるロシア炭では前年同期を下回る輸送量となりました。この結果、同部門全体では前年同期をやや下回る輸送量となりました。

同部門では、前年同期に比べて稼働が減少したことなどもあり、売上高は61億48百万円となり前年同期に比べて3.5%の減収となりました。営業損益は前年同期比での市況の改善に伴う用船料の上昇もあり前年同期に比べて1億80百万円減益の6百万円の損失となり、期初の計画をやや下回りました。

「内航部門」

定期船輸送では、当期は運航船の入れ替えによりスケジュールの安定化を図った清水/大分航路と大型化した常陸那珂/苫小牧航路などで輸送量が増加しました。

フェリー輸送では、大型連休により旅客と乗用車の利用は前年同期を大幅に上回りましたが、トラックの輸送量は、昨年6月に開設した宮古/室蘭航路が当期は6か月間の稼働になったことで増加したものの、前年同期に同航路開設前の船舶を活用して例年以上の航海数となっていた八戸/苫小牧航路の運航体制が通常通りとなり航海数が減少したことで、両航路を合わせたトラックの輸送量は前年同期並みとなりました。

不定期船輸送では、石灰石・石炭の各専用船は安定した稼働となりました。この結果、同部門全体では略前年同期並みの輸送量となりました。

同部門では、定期船輸送の清水/大分航路や常陸那珂/苫小牧航路での輸送量の増加やフェリー輸送での旅客と乗用車の乗船が増加したことなどにより、売上高は154億67百万円となり前期に比べて3.0%の増収となりました。営業利益は修繕費の減少や一部の船舶での耐用年数の変更等による減価償却費の減少に加え、燃料油価格の下落により燃料費が減少したことなどにより、前年同期に比べて152.2%増益の13億72百万円の利益となり、期初の計画を上回りました。

「OSV部門」

オフショア支援船事業では、地球深部探査船“ちきゅう”の支援や基礎試錐でのサプライ業務などに従事し前年同期を上回る稼働率となりました。

同部門では、2019年1月から6月が当第2四半期累計期間の対象期間となりますが、当期は上記の支援船事業などにより各船とも高稼働を維持したことから売上高は8億87百万円となり前年同期に比べて9.5%の増収となり、営業損益は前年同期37百万円の損失から1億15百万円改善し77百万円の利益となり、期初の計画をやや上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少し482億65百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加により14億56百万円増加し171億44百万円となりました。固定資産は、主に船舶の減少により15億62百万円減少し311億20百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億85百万円減少し204億82百万円となりました。流動負債は、主に短期借入金の減少により2億72百万円減少し89億50百万円となりました。固定負債は、主に長期借入金の減少により7億12百万円減少し115億32百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ8億79百万円増加し277億82百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3・4四半期につきましては、最近の燃料油価格などの経営環境及び業績動向を踏まえ、前回(2019年4月26日)公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しております。

なお、第3四半期以降の前提条件は次のとおりです。

為替レート：1ドル=106円(前回公表時108円)

燃料油価格：C重油 59,100円/KL(前回公表時 71,300円/KL)

2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,900	1,550	1,550	1,000	340.65
今回修正予想(B)	45,000	1,900	1,850	1,450	493.94
増減額(B)-(A)	△2,900	350	300	450	—
増減率	△6.1%	22.6%	19.4%	45.0%	—
(参考)					
前期実績(2019年3月通期)	45,734	2,005	2,047	1,697	578.15

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,280,323	5,731,471
受取手形及び営業未収入金	5,795,701	5,406,320
原材料及び貯蔵品	738,866	643,407
短期貸付金	3,590,000	4,384,000
その他	1,293,895	988,573
貸倒引当金	△10,488	△8,807
流動資産合計	15,688,298	17,144,966
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	28,093,696	26,131,916
建物及び構築物（純額）	338,897	324,762
土地	885,148	1,001,041
建設仮勘定	10,869	263,500
その他（純額）	518,590	626,886
有形固定資産合計	29,847,202	28,348,106
無形固定資産	103,965	92,455
投資その他の資産		
投資有価証券	1,104,657	944,431
長期貸付金	59,523	56,320
退職給付に係る資産	234,627	251,054
繰延税金資産	626,829	664,694
敷金及び保証金	434,763	454,610
その他	289,715	327,347
貸倒引当金	△18,595	△18,594
投資その他の資産合計	2,731,522	2,679,864
固定資産合計	32,682,690	31,120,426
資産合計	48,370,988	48,265,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,291,298	3,505,937
短期借入金	3,533,452	2,808,056
未払法人税等	627,732	751,375
賞与引当金	270,228	270,102
役員賞与引当金	40,000	18,000
その他	1,459,807	1,596,685
流動負債合計	9,222,519	8,950,156
固定負債		
長期借入金	10,429,584	9,605,556
長期末払金	544,288	473,661
繰延税金負債	6,350	—
再評価に係る繰延税金負債	53,569	53,569
役員退職慰労引当金	158,695	162,413
特別修繕引当金	458,495	543,142
退職給付に係る負債	284,862	294,158
その他	309,650	400,217
固定負債合計	12,245,495	11,532,717
負債合計	21,468,015	20,482,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,250,124	1,252,800
利益剰余金	21,701,523	22,612,171
自己株式	△28,609	△28,716
株主資本合計	25,291,688	26,204,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,028	215,417
土地再評価差額金	123,543	123,543
為替換算調整勘定	120,389	78,656
退職給付に係る調整累計額	△36,939	△35,143
その他の包括利益累計額合計	431,022	382,473
非支配株主持分	1,180,262	1,195,139
純資産合計	26,902,973	27,782,518
負債純資産合計	48,370,988	48,265,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	22,197,119	22,505,571
売上原価	19,318,487	18,884,448
売上総利益	2,878,631	3,621,123
販売費及び一般管理費	2,197,067	2,176,970
営業利益	681,564	1,444,152
営業外収益		
受取利息	13,009	8,698
受取配当金	51,998	26,796
為替差益	24,486	—
その他	58,428	11,535
営業外収益合計	147,923	47,030
営業外費用		
支払利息	68,083	47,923
為替差損	—	44,719
その他	773	440
営業外費用合計	68,856	93,083
経常利益	760,630	1,398,100
特別利益		
固定資産売却益	579,229	431,004
特別利益合計	579,229	431,004
特別損失		
投資有価証券評価損	—	142,098
特別損失合計	—	142,098
税金等調整前四半期純利益	1,339,860	1,687,007
法人税、住民税及び事業税	367,174	608,343
法人税等調整額	77,175	△35,473
法人税等合計	444,350	572,870
四半期純利益	895,509	1,114,136
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,437	27,352
親会社株主に帰属する四半期純利益	896,946	1,086,783

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	895,509	1,114,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,183	△8,611
為替換算調整勘定	94,984	△41,733
退職給付に係る調整額	1,749	1,795
その他の包括利益合計	152,917	△48,549
四半期包括利益	1,048,427	1,065,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,049,864	1,038,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,437	27,352

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,339,860	1,687,007
減価償却費	1,744,910	1,556,961
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,825	△1,682
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,893	△126
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000	△22,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,533	△4,562
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27,968	3,718
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	34,152	84,647
受取利息及び受取配当金	△65,008	△35,495
支払利息	68,083	47,923
為替差損益(△は益)	△12,135	15,462
有形固定資産売却損益(△は益)	△579,229	△431,004
投資有価証券評価損益(△は益)	—	142,098
売上債権の増減額(△は増加)	△744,740	395,533
たな卸資産の増減額(△は増加)	△252,256	100,102
未払又は未収消費税等の増減額	30,026	444,423
仕入債務の増減額(△は減少)	624,250	227,482
その他	23,662	109,518
小計	2,225,729	4,320,006
利息及び配当金の受取額	64,965	35,279
利息の支払額	△67,291	△50,070
法人税等の支払額	△391,805	△486,305
法人税等の還付額	106,955	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,938,553	3,818,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,455,348	△762,427
有形固定資産の売却による収入	665,350	668,685
無形固定資産の取得による支出	△17,988	△23,064
補助金の受取額	—	364,205
貸付金の回収による収入	4,594	3,457
敷金及び保証金の差入による支出	△4,830	△22,553
その他	31,828	△46,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,776,394	181,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	4,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△989,325	△1,541,850
配当金の支払額	△205,248	△175,916
非支配株主への配当金の支払額	—	△4,800
リース債務の返済による支出	△21,960	△29,280
その他	—	△5,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,783,465	△1,756,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,224	△6,111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	959,848	2,237,274
現金及び現金同等物の期首残高	6,581,782	7,881,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,541,631	10,118,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計上の見積りの変更等)

当社及び一部の連結子会社は、一部の船舶の耐用年数について、新たに長期運航契約が締結されたことを契機に、経済的使用可能予測期間（長期運航契約期間）に変更しております。

また、従前より、長期運航契約の対象船については定額法を採用していることから、上記船舶の償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これらの変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益が192,175千円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	近海部門	内航部門	OSV部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,371,028	15,013,608	810,742	22,195,379	1,739	22,197,119
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,371,028	15,013,608	810,742	22,195,379	1,739	22,197,119
セグメント利益又は損失(△)	174,391	544,309	△37,520	681,180	383	681,564

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	681,180
「その他」の区分の利益	383
四半期連結損益計算書の営業利益	681,564

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	近海部門	内航部門	OSV部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,148,347	15,467,807	887,876	22,504,031	1,540	22,505,571
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,148,347	15,467,807	887,876	22,504,031	1,540	22,505,571
セグメント利益又は損失(△)	△6,270	1,372,593	77,531	1,443,854	298	1,444,152

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,443,854
「その他」の区分の利益	298
四半期連結損益計算書の営業利益	1,444,152

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載のとおり、一部の船舶の耐用年数について、新たに長期運航契約が締結されたことを契機に、経済的使用可能予測期間(長期運航契約期間)に変更し、また上記船舶の償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これらの変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「内航部門」のセグメント利益が192,175千円増加しております。